

私の資産をまちの資源に 連続セミナー(3)

空き家・空き地を活用した地域共生の拠点づくり

〈豊中のコミュニティソーシャルワーカーの実践から〉

日時 二〇二三年一月二十一日(土曜日)

午前10時より12時

場所 地域共生ホーム「和居輪居」

(豊中市岡町南二丁目十三の二)



勝部麗子さん
Reiko Katsube

大阪府豊中市生まれ。1987年に豊中市社会福祉協議会に入職。2004年に地域福祉計画を市と共同で作成、全国で第1号のコミュニティソーシャルワーカーになる。地域住民の力を集めながら数々の先進的な取り組みに挑戦。2014年、NHKドラマ『サイレントプア』のモデルとなり同年『プロフェッショナル 仕事の流儀』にも出演。2015年から宅地で定年後の男性のコミュニティとして都市型農業を開業、現在は8ヶ所に。空き家を使った地域共生ホームで多世代や多文化交流の活動を展開している。厚生労働省の社会保障審議会委員として生活困窮者自立支援法成立や地域共生社会、重層的支援体制整備事業制定に携わる。

地域でのつながりが薄れていっています。そのような中、豊中市社会福祉協議会は、空き家や空き地を活用して、コミュニティ人と人がつながって多様な活動ができる拠点づくりに取り組んでいます。空き地を活用して定年後の男性の居場所と仲間作りとなっている都市型共同農園「豊中めぐり」。買い物困難地域にある空き店舗で引きこもりの若者たちが運営しているお店「びーの×マルシェ」。文化住宅の一室や古民家を活用して子ども食堂・認知症カフェ・外国人との交流など多様な活動拠点となっている「和居輪居」。これらの活動について、勝部麗子さんにお話ししていただきます。

○参加料 一般 1,000円
都市住宅学会会員 500円

○申し込み Peatixでお申し込みください。
<https://peatix.com/event/3452903/view>
締切：1月20日AM.12時まで(先着順)

○定員 25名

○スケジュール
2023年1月21日(土) 10時~12時
10時~ 勝部麗子さんによる講演
11時30分~ 質疑応答
コーディネータ 神吉優美
終了後、「豊中めぐり」をご見学ください。

問合せ先：都市活力研究所(三本松)
sanbonmatsu@urban-ii.or.jp

主催 都市住宅学会関西支部・都市活力研究所